

北山校区まちづくりプラン (北山校区振興計画)



平成30年 3月
北山校区コミュニティ協議会

《 目 次 》

- 一 はじめに
- 二 北山校区の位置図と概要・歴史
- 三 北山校区の現状と主要施設・史跡・産業
- 四 北山校区コミュニティ協議会組織体制
- 五 北山校区コミュニティの現状と課題
- 六 北山校区がめざす将来像 [スローガン]
- 七 主な取り組みと役割分担と実施期間
- 八 計画の推進に向けて
- 九 資料編
 - (一) 計画策定の経過
 - (二) 北山校区まちづくりプラン策定委員会委員名簿

一、はじめに

始良市最北端に位置する北山校区は、人口減少、高齢化の進んでいる中山間地帯です。北山校区地域コミュニティ協議会は、5集落8自治会をはじめ各種団体の元、地域の活性化を図るべく、平成21年度以降独自の活性化仕組みづくりを進めてまいりました。

平成27年度始良市行政政策の中で、新たに市17校区毎のコミュニティ協議会組織化に依り、北山校区コミュニティ協議会役員と各種団体の代表者を策定委員として、北山校区振興計画「まちづくりプラン」を作成いたしました。

コミュニティ組織内に、総務部、青少年育成・スポーツ振興部、環境・安全・地域づくり部、地域福祉部を設置し、地域課題の抽出を見出し、その解決に向けて取り組むべきことを考え、役割分担・実施期間等を検討し、地域住民に広く広報しながら策定したまちづくり計画を共有しながら、住民の安心安全な生活と共に生きる地域づくりと連帯感あふれる協働のまちづくりが進んでいくことを期待し、自然環境の中で交流人口の里、長寿の里、体験活動の里として地域住民の生きがい作りに邁進してまいります。

平成30年3月

北山校区コミュニティ協議会

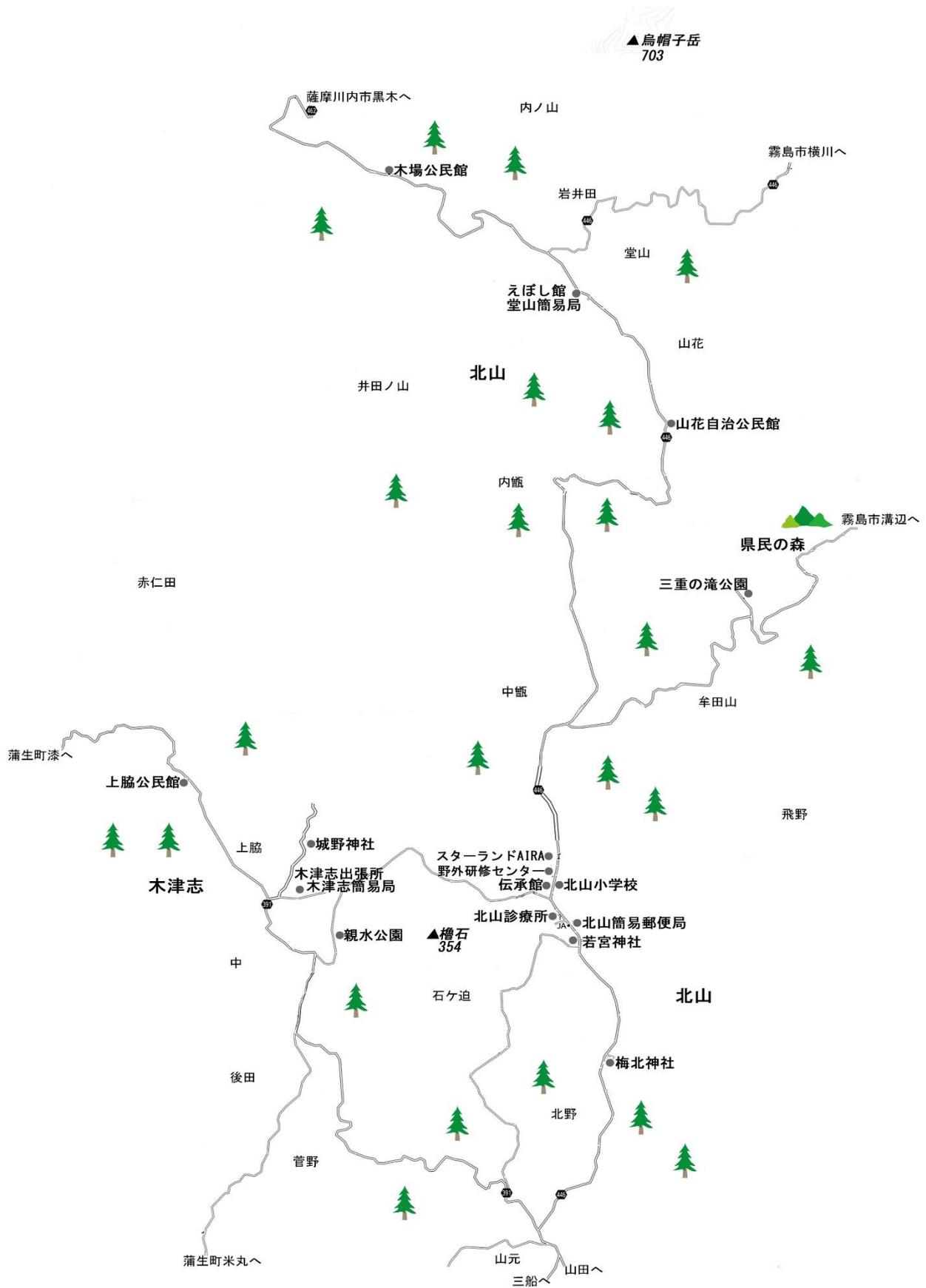
二、北山校区の概要と位置図・歴史

〔概要〕

始良市の最北部に位置する北山校区は、別府川上流水源からなる標高250mの山間地であると共に、標高703mの烏帽子岳と長尾山を背景に自然豊かな森林と田園風景の広がる農村地帯で、始良市17校区の中で大きな規模の面積を有する校区となっています。



〔位置図〕



〔歴史〕（北山小学校となる過程）

成美小学校

- 明治 8年 山田小学校分校として創設
- 明治 9年5月 独立して宮脇小学校として発足
- 明治 22年4月 城野尋常小学校と合併し、宮脇尋常小学校と改称
- 昭和 22年4月 成美小学校と改称
- 昭和 43年3月 閉校し4月より北山小学校へ統合

木津志小学校

- 明治 11年4月 城野尋常小学校開設
- 明治 22年4月 宮脇尋常小学校と合併し城野分教場となる
- 大正 8年4月 成美尋常小学校より独立し木津志小学校発足
- 昭和 43年3月 木津志小学校閉校、4月北山小学校木津志分教場となる
- 昭和 44年4月 北山小学校へ統合

堂山小学校

- 明治 31年9月 宮脇尋常小学校堂山分教場として開設
- 昭和 22年4月 成美小学校堂山分校と改称
- 昭和 27年4月 成美小学校より独立し堂山小学校と改称
- 昭和 43年3月 堂山小学校閉校、4月 北山小学校堂山分教場となる
- 昭和 44年4月 北山小学校へ統合

北山小学校

- 昭和 43年4月 過疎化・人口減少により、成美小学校、木津志小学校、堂山小学校の3校が合併し現在の北山小学校となる。
(成美小 54名、木津志小 60名、堂山小 73名)
- 平成 12年4月 小規模校特別認可制度スタート
(児童数28名、3学級 うち特認校生11名)

三、北山校区の現状と主要施設・史跡・産業

〔北山校区の現状〕 平成29年5月1日現在

- 世 帯 数 : 231世帯
- 人 口 : 367名 (男性 160名 女性 207名)
- 高 齢 化 率 : 69.2% (65歳以上)
- 児 童 生 徒 数 : 北山小学校 30名 (地域 4名 特認生 26名)
山田中学校 1名

○消 防 団 員： 始良市消防団北山分団員 35名

○校区内主要施設

- ・北山小学校
- ・北山診療所
- ・スターランドAIRA
- ・野外研修センター
- ・伝承館
- ・県民の森
- ・始良生活改善センター
- ・えぼし館
- ・始良農産加工センター
- ・北山区集会センター
- ・JA北山出張所
- ・木津志出張所
- ・木津志簡易郵便局
- ・堂山簡易郵便局
- ・北山簡易郵便局

○交通

- ・路線バス1日4便
- ・ふるさとバス1日3便
- ・県道十三谷重富線
- ・県道下手山田帖佐線

○スポーツ施設

- ・野外研修センター広場
- ・北山小学校体育館

○教育施設

- ・北山小学校
- ・野外研修センター
- ・スターランドAIRA
- ・伝承館

○公園・寺社仏閣・名所・史跡

- ・城野神社
- ・梅北神社
- ・若宮神社
- ・火の神神社
- ・親水公園
- ・烏帽子岳
- ・長尾山
- ・三重の滝公園
- ・別府川源流
- ・田の神
- ・馬頭観音
- ・下ノ城跡
- ・中ノ城跡
- ・松坂城跡
- ・北野天神
- ・七ツ島
- ・光楽寺分院
- ・木津志の石橋

○ 祭り・イベント・伝統行事

- ・桜祭り
- ・れんげ祭り
- ・筍掘り体験
- ・竹水鉄砲合戦大会
- ・そば打ち体験
- ・校区運動会
- ・校区スポーツ大会
- ・火の神祭
- ・三尺棒踊り
- ・柱松
- ・豊年祭
- ・馬頭観音祭
- ・十五夜綱引き
- ・田の神講
- ・鬼火焚き
- ・城野神社祭
- ・若宮神社例大祭
- ・梅北神社初詣祭

○ 主 産 業

- ・米作
- ・林業
- ・竹林業
- ・有機野菜
- ・いちご生産
- ・牛生産
- ・ナタ豆
- ・竹の子生産
- ・マコモ竹
- ・薬草
- ・椎茸
- ・ニガウリ

[北山校区の主要な施設・史跡・伝承行事・芸能]

北山小学校



北山診療所



野外研修センター



北山伝承館



始良農産加工センター



えぼし館



スターランド AIRA



県民の森学習館（学習館）



始良生活改善センター



木津志出張所



木津志の城野神社



親水公園（木津志）



田の神（中甕）



田の神（木津志）



火の神祭り



柱松祭



三尺棒踊り



田の神祭



十五夜祭



鬼火焚き祭



梅北神社 初詣事業



校区スポーツ大会



さくら祭り



竹の子掘り体験



竹 水 鉄 砲 合 戦



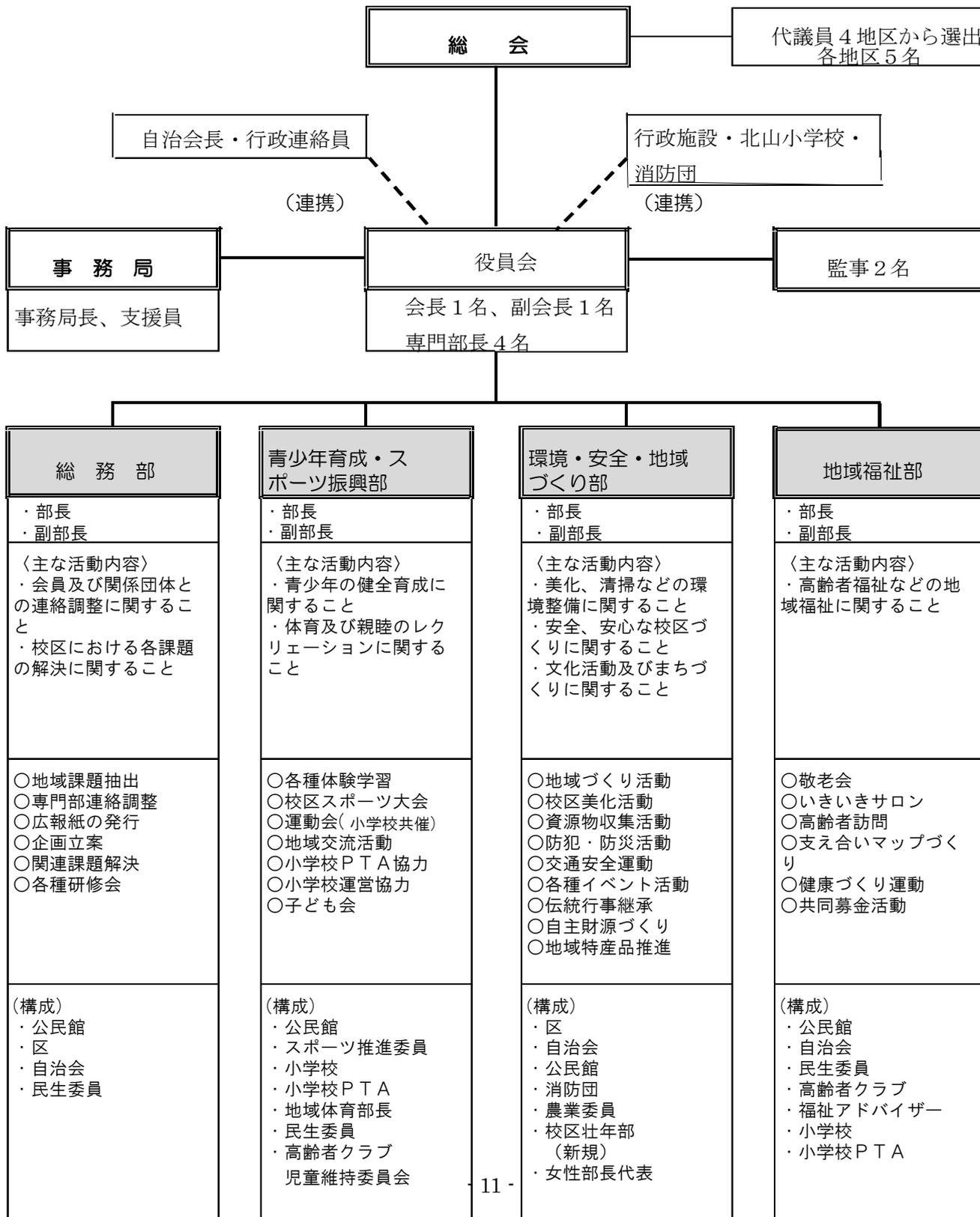
年 越 し 蕎 麦 打 ち 体 験



四、北山校区コミュニティ協議会組織体制

北山校区コミュニティ協議会組織

設立年月日 平成27年4月11日



五、北山校区コミュニティの現状と課題

(1) 総務部

校区内自治会長、区長、ほか組織団体長で構成され各専門部事業の補佐的役割を担う。

[課題]

後継者・Uターン者等含め、若年層の声を幅広く取り入れた育成及び地域づくりと自主財源確保と地域課題抽出や各自治会行事の補佐的責務を担う。

(2) 青少年育成・スポーツ振興部

青少年育成は小学校との連携を図り、着実に各種行事計画を実施している。

スポーツは住民の健康づくりと住民同士の交流の場としてG・ゴルフ・ペタンク大会を年2回開催している。

[課題]

青少年育成は、今後児童維持の課題解決に向けて、現在実施している小規模校ならでの体験学習（筍掘り・イチゴジャム作り・栗拾い）等北山の魅力を発信していく。

スポーツ大会は住民誰でも参加しやすい競技種目（竹水鉄砲合戦・カップ）等を実施して行く。

(3) 環境・安全・地域づくり部

自然を愛し、安心・安全な生活空間づくりに、各自治会・防災組織・消防分団との連携と各自治会単位で環境美化・ゴミ分別収集等実施している。

地域づくりは、現在校区壮年部組織を立ち上げ、新たな地域づくりと各集落ごとの行事を含め、交流人口の活性化へ向けて取組を進めて行く。

[課題]

壮年部組織を中心に新たな知恵と発想の地域づくりを期待しているが、集落毎の行事継承と自主財源確保及び住民の意識改革が必要とされている。

(4) 地域福祉部

いきいきサロンは2集落で実施している。また高齢者見守り・独居高齢者訪問等も民生委員・自治会で実施中である。

[課題]

いきいきサロンを全集落に立ち上げ、健康づくり体操、食事会、地域高齢者の居場所づくり等を考案していく。また各地域見守りマップづくりを実施し独居高齢者の見守隊を組織し、安心安全な生活を支えていく体制を作り上げていく。

六、北山校区がめざす将来像

スローガン（将来像）

支え合う思いやりと、共に生きる長寿の里づくり

この目標は守り合い助け合いのもと、校区の恵まれた自然も大切にし、継承しながら大人から子供まで明るく楽しく生活していく又、各種イベント等を利用し校区の魅力をアピールしながら交流人口を取り込み安心、安全に暮らせる地域づくりを掲げることで今後のコミュニティとしての取り組むべき事を明確にして、地域住民の意識を高めて行くことを目的とする。

各分野別の基本方針

一、総務部
目指す姿 住民の笑顔と住みやすい校区づくり
基本方針 伝統行事等の応援、自治会行事の補佐を実施し情報の共有、連携強化により各 自会の活性化を目指しながら、新たな地域資源の掘り起こしも進めます。
一、青少年育成・スポーツ振興部
目指す姿 青少年体験活動と住民の健康づくり
基本方針 学校と地域との結びつきを強め、色々な体験活動を通じて子供達の健全育成に 努めると共に、住民の健康な生きがい作りと絆を深めて行きます。
一、環境・安全・地域づくり部
目指す姿 支え合い、安心安全な暮らしやすい校区づくり
基本方針 各種イベントを通じ、交流人口も含め触れ合う機会を強化しながら、支え合い 暮らしやすい校区づくりと、自然環境の維持管理や財源確保を目指します。
一、地域福祉部
目指す姿 高齢者に優しい長寿の里づくり
基本方針 いきいきサロン等の拡充や健康作り体操の導入など、高齢者の孤立化を防ぎ 生活の不便・不安の解消と見守り活動等のサポートづくりを目指します。

七、主な取り組みと役割分担と実施期間

体系のイメージ

専 門 部	目 指 す 姿	内 容
総 務 部	住民の笑顔と すみやすい校区づくり	自治会活動の支援 後継者支援
青少年育成・ スポーツ振興部	青少年体験活動と 住民の健康づくり	地域と学校の連携 自治会との連携
環境・安全・ 地域づくり部	支え合い安心安全な 暮らしやすい校区づくり	地域資源の活用 自治会との連携
地域福祉部	高齢者に優しい 長寿の里づくり	民生委員 自治会と連携

○役割分担

地域	校区内で取り組む
協働	校区と行政が共同で取り組む
行政	行政が取り組む

○実施時期

短期	1～2年で取り組む
中期	3～5年で取り組む
長期	6～10年で取り組む

各分野別の主な取り組み

総務部

取り組む事項 地域振興 資源の掘り起し 各部との連携

項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
	校区	協働	行政	短期	中期	長期
各自治会行事の補佐	○			➡		
人口増加対策		○		➡		
自主財源作り		○		➡		
空き家利用促進		○		➡		
定住促進住宅入居者の確保・支援		○		➡		



青少年育成・スポーツ部

取り組む事項

学校と地域との連携

健康づくりサポート

項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
	校区	協働	行政	短期	中期	長期
体験学習用農地の確保	○			→		
竹水鉄砲合戦の拡充策	○			→		
ニュースポーツ・クラブの推進	○			→		
子どもの見守り活動		○		→		



環境・安全・地域づくり部

取り組む事項 地域の絆や連帯感を養う 環境維持、発掘

項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
	校区	協働	行政	短期	中期	長期
北山茶屋の再利用	○			→		
烏帽子岳登山道整備		○		→		
農地維持対策		○		→		



地域福祉部

取り組む事項 触れ合う機会の充実 高齢者支援

項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
	校区	協働	行政	短期	中期	長期
地域見守りマップ作り		○		➡		
独居高齢者の見守り隊	○			➡		
生き生きサロンや健康体操の推進		○		➡		

コミュニティ協議会と北山小学校合同の高齢者宅訪問



八、計画の推進に向けて

○今回のまちづくりプランは、より具体的に実践可能なプランとしてまとめ、地域住民みんなでめざそう

「支え合う思いやりと、共に生きる長寿の里づくり」

として住民の生きがいをみんなで楽しく知恵と発想を出し合えるコミュニティ環境の中で、交流人口を取り込み活性化していく地域づくりに取り組んでまいります

- 1、策定したまちづくり計画書は、地域全体の計画とするため、全住民へ周知し、理解を図ってまいります。
- 2、計画を推進していくために、現在までの地域づくりの仕組みとコミュニティを中心に、地域住民・自治会・北山区・木津志区・諸団体・行政施設・行政・NPO・企業等々の連携の中、参加・参画・協働できる体制を幅広く周知し、計画の一層の充実を図ってまいります。
- 3、計画推進にあたっては、一つ一つの課題を住民の知恵と発想の中から順次決定し、できることから実践してまいります。
- 4、計画の推進は、人材の適材適所、地域内の人的資源、後継者や女性の力を活用しながら、人材育成も兼ねて図ってまいります。
- 5、計画は進捗状況を確認しながら、必要に応じた見直し等コミュニティ内で検討し、行政を支えながら計画の推進を図ってまいります。
- 6、予算配分は民主的に透明性をもって決定し遂行してまいります。

九、資料編

(1) 計画策定の経過

開催日	項目	内容	会場
6月24日	第1回役員会	*まちづくりプラン事前打合せ *策定委員選定検討	始良生活改善センター
7月15日	第2回役員会	*策定委員決定・案内状発送 *アンケート内容事前検討	始良生活改善センター
7月29日	第1回策定委員会	*まちづくりプラン取組説明 *アンケート内容決定	始良生活改善センター
8月26日	第2回策定委員会	*校区内主用施設名所旧跡他 *地域の現状と課題	始良生活改善センター
9月30日	第3回策定委員会	*アンケート集計結果確認 *地域の課題抽出	始良生活改善センター
10月28日	第4回策定委員会	*地域の目指す将来像 *主な取組と実施時期	始良生活改善センター
11月25日	第5回策定委員会	*取りまとめ素案作成	始良生活改善センター
12月16日	第6回策定委員会	*まちづくりプラン検討・確認	始良生活改善センター
2月24日	第3回役員会	*冊子の配布・活用方法	始良生活改善センター

(2) 北山校区まちづくりプラン策定委員会委員名簿

団体	氏名	団体	氏名
コミュニティ協会長	内甌 達也	公民館長	中村 武男
コミュニティ協副会長	崎山 照男	PTA 代表	小長野憲二
コミュニティ協事務局長	堀 朝子	民生委員代表	有村久美子
総務部長兼自治会長	有村 範夫	消防団代表	山口 忠昭
青少年育成・スポーツ部長	堂蘭 信之	敬老会代表	溝 良嗣
環境・安全・地域作り部長	内甌 達也	女性部代表	向江美保子
地域福祉部長	堀 朝子	北山小代表	西留 栄俊
自治会長	有村 信行	壮年部代表	小倉 勝治
自治会長	栗下 久男	上地区班長	田中 浩一
自治会長	山下 幸子	上地区班長	村場 操
支援員	井尻 勇	上地区班長	崎山 修